

10月3日 会員卓話



『ロータリーに思うこと』

加藤 修 会員

私は1994年、八潮中央ロータリークラブの創立時に、八潮ロータリークラブの先輩に進められて仕方なく入会しました。ロータリークラブといえは、お金持ちで時間が自由になる地域の有力者の集まりだと思っていましたが、気が付いてみれば辞めることなく、19年間もの長いことロータリーの会員を続けています。

しかし、会員になって10年位は例会や奉仕活動も仕事が忙しく、出席率が非常に悪く、皆さんに大変迷惑をかけていたと思います。私がロータリー活動に、少しは真面目に取り組み始めたのは、前の八潮中央ロータリークラブの会長を引き受ける2年前ぐらいだと思います。会社も少しは安定し、私自身、時間の余裕が出来たからです。

ロータリーとは簡単に考えると、国際親善と社会奉仕を目標とした団体だと思えます。ロータリアンには3つの義務があります。例会への出席、会費の納入、ロータリーの友の購読の義務です。この3つの義務を果たしていれば、立派なロータリアンです。又、ロータリアンとしての誇りやプライドも大切にしましょう。

ロータリーはすべての役職の任期は1年です。1年間与えられた役職を一生懸命にやり遂げれば人は大きく成長します。私自身、八潮中央ロータリークラブ時代と今回の八潮みらいロータリークラブの初代と、2回も会長を務めさせていただいて、自分で言うのもなんですが、すべての面で大きく成長したと思えます。クラブの若い会員の皆さん、出来るならば早いうちに会長や幹事の役職を経験された方が良いと思えます。絶対に将来の自分自身の為になります。是非、積極的に手を挙げてクラブ運営に取り組んでください。

クラブとしては、有意義で地域の人々に喜ばれ感謝される奉仕活動を進め、会員皆でわいわい楽しく奉仕活動が出来れば、それで良いと思えます。そして、肩肘を張らず明るく、楽しく、何でも話し合えるクラブにして行こうではありませんか。

最後に、私自身の希望ですが、もし仕事をリタイアしても例会に出席して、クラブの事業に協力し、参加をして何らかの役に立てる一会員でいたいと思います。話がまとまりませんがこれで『ロータリーに思うこと』の卓話を終わらせていただきます。